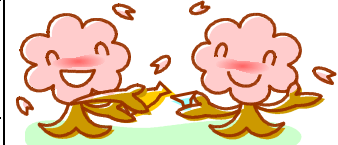


# チーム えがお

【学校教育目標：自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成】  
「かしこく」自ら学ぶ子 「やさしく」心豊かな子 「たくましく」やりぬく子



発行者: 校長 岡田達也



～ えがお かがやき かんばる 学校 うれんだん「チーム北川」～

**気持ち新たに 次の学年へ!**  
**～この1年間 お世話になりました～**

3月17日(金)に、6年生17人が卒業していきました。6年間の様々な思い出に包まれて、ご来賓や保護者の皆様、そして在校生(5・4年生)、教職員に見守られて巣立っていきました。嬉しくもあり、寂しくもあり、何とも言えない気持ちでした。今週に入ってから、よけいに6年生の存在を感じることもばかいです。学校はいつもより静まりかえっています。

卒業証書授与式では、卒業生の凜とした態度、気持ちを込めた呼びかけ、卒業の歌など、どれも素晴らしいものでした。卒業生を見送った在校生の心によき伝統として焼き付いたことでしょうか。中学校に羽ばたいていく卒業生には、楽しいことも苦しいことも、いろいろなことが待ち受けているかもしれませんが、どの子も自分の夢や希望に向かってがんばってほしいと願うばかりです。同時に、在校生代表として式に参加した5・4年生は本校を代表する立派な高学年となることを確信しました。

卒業式の校長「はなむけの言葉」では、次のようなことを話しました。

～ 「ありがとう」の言葉を大切に ～

(前略) 「ありがとう」という言葉には、あなたの存在は「有り難いこと」だという思いが込められています。文字通り「有るのが難しい」状態、つまりあなたの存在は「とても貴重ですばらしいこと」だという意味です。「ありがとう」は、相手の存在を認め、感謝している言葉なのです。

私たちは、実際に口に出して言うことで、その言葉を自分の耳から聞き、自分の心へ染みこませていきます。私たちの心は、良いことも悪いことも、投げかけられた言葉や思いに反応するようになっていきます。意識して、あたたかな言葉をつかうことで、皆さんの中にあたたかな心が育っていきます。人に対して「ありがとう」と言うことは、自分にとっても「ありがとう」と、自分の存在を認めることにつながります。

心で考えるだけでなく、実際に口に出す。つまり、行動することで自分の世界を変え、豊かにしていきます。

(後略)

明日で、平成28年度も修了となります。そして、いよいよ4月1日(土)から新年度。6日(木)には新学期の始業式。7日(金)には入学式。子どもたちは、一つ大きな学年へと進みます。

4月は、気持ちを切り替えるにはよい時期となります。子どもたちは、一つ大きな学年になり、新しい先生と一緒に、自分にまだ足りないことをがんばろうという気持ちになります。私たち人間には、「こんなふうになりたい!」という願望とともに、自分をふり返って「やりなおそう!」という願望があります。それは、新しく何かが始まる、キリのよいときに強く意識するものなのです。例えば、新年度になったとき、新年を迎えたとき、誕生日を迎えたときなどが、「やり直したい」という思いを行動に移すよい機会となります。子どもたち一人一人の「こんなふうになりたい」という思いを実現させるためには、保護者の皆様と私たち教職員が一層連携・協力して支えていかなければなりません。

ぜひ、新年度を迎えるこの機会に、次のことをご家庭でも一緒に話し合っただけいただければと思います。

- ① 自分が今までがんばってきた(努力してきた)ことは何か。その結果はどうだったのか。
- ② 自分のよさや長所は何か。
- ③ 自分に足りないもの、課題となるものは何か。それを改善、克服するためにはどうしたらよいのか。



**※ 4月から、「何を」「どうするのか」を具体化させる。(学校で&家庭で)**



保護者の皆様には、この1年間、本校教育の推進につきまして多大なるご理解・ご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。今後とも、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。有意義な春休みを過ごし、4月に意欲にあふれた子どもたちに会えることを楽しみにしています。